

ねりまの文化財

第 15 回 郷土芸能 ねりま座 公演

ねりま座とは

「ねりま座」公演は、年に一度開催する練馬区の郷土芸能の祭典です。当日は、練馬区内で現在も活動している囃子連の中から 4 団体が出演し、各地域で受け継がれてきた囃子を披露します。また、毎年、関東近県からお招きした郷土芸能団体のゲスト出演もあります。

今年も、下記のとおり開催します。ゲストには埼玉県秩父郡横瀬町から、横瀬人形芝居保存会をお招きします。皆さまお誘いあわせのうえ、ご来場ください。

日時 平成 27 年 2 月 15 日 (日)

午後 1 時 ~ 5 時

(午後 0 時 30 分開場)

会場 練馬区立生涯学習センター

練馬区豊玉北 6-8-1

出演 中里囃子連

上石神井囃子連

春日町子ども囃子

石神井台囃子連

客演 横瀬人形芝居保存会

(埼玉県指定無形民俗文化財)

主催 練馬区

協力 練馬区民俗芸能協議会

助成 一般財団法人地域創造

定員 300 名 (先着順)

費用 入場無料

申込 当日会場受付

問合せ 伝統文化係まで



練馬区
地域文化部
文化・生涯学習課
(伝統文化係)
〒176-8501
練馬区豊玉北 6-12-1
03(5984)2442



はやし ししまい
囃子と獅子舞



「判官矢取り親子対面の場」(『小栗判官実道記』)

ねりまの天然記念物

天然記念物とは？

動物、植物、地質、鉱物などの自然のものに関する記念物です。練馬区内には、さまざまな天然記念物の指定・登録文化財があります。

国指定

三宝寺池沼沢植物群落

さんほうじいけしよたくしよくぶくわう

都立石神井公園内の三宝寺池の中の島を中心とした植物群落で、昭和10年（一九三五）に指定されました。カキツバタ、ミツガシワ、コウホネ等で構成されています。



カキツバタ



コウホネ

国指定

練馬白山神社の大ケヤキ

はくさん

練馬4・2の白山神社境内の拝殿前に二株あります。樹齢九十年と推定されています。平安時代の一八三年に源義家が後三年の役で奥州に向かう途中、戦勝祈願し、奉納したと伝えられます。

階段上のケヤキは、一昨年台風の被害を受けましたが、現在は樹勢をもちかえってきているようです。階段下のケヤキは樹高約19m、幹周り約7.2mです。
階段上のケヤキは昭和15年に国指定となり、階段下のケヤキも平成8年に追加指定されました。



《花と樹木の歳時記》

見頃の季節別に紹介します。

春

カタクリ群落

区登録

大泉町1・6の清水山憩いの森に自生しています。約三六mの範囲で約30万株の生育が推定されています。昭和51年に区が憩いの森として整備し、保全しています。

自生地は、北斜面の森林内で、山の斜面の下には、湧き水がみられます。株は一年ごとに交互に花を咲かせます。開花時期は、3月下旬から4月上旬です。



夏

練馬東小学校のフジ

区指定

春日町1・30の練馬東小学校の校庭南西隅にあります。根元近くの幹周りが3mを超える大木です。もとは、板橋区成増の並木家にあつたものを、旭町三丁目にあつた兎月園に移し、その後、昭和35年に学校創立の記念樹として移植されました。毎年5月に薄紫の花房をつけます。



開進第一小学校の

クスノキ

区登録

早宮 2-1 の開進第一小学校の正門脇にあります。樹高が 20.7 m で幹周りが 3 m 近くあり、樹齢が概ね 100 年と推定されます。主幹は、地表 2 m あたりで切断された痕があり、一又になっていますが、典型的なクスノキの樹形をたもっています。



光伝寺のコウヤマキ

区登録

水川台 3-24 の光伝寺の本堂前にあります。樹高 14 m、幹周りが 2.4 m ある区内最大のコウヤマキです。樹齢は数百年と推定されます。

幹がまっすぐに伸び、釣鐘状の樹形は、この種の典型です。



井頭のヤナギ

区指定

東大泉 7-34 の大泉井頭公園にある 2 株のマルバヤナギです。水辺植物であり、生育している場所は、かつては井頭池の水辺の低地でした。南側は高さ 8 m、北側は 6 m で区内でも大きなヤナギです。

台風などの災害で、何度か被害にあつてはいますが、幹は太く大きな枝振りがみごとです。



秋

金乗院の大イチヨウ

区登録

錦 2-4 の金乗院の本堂の前にあります。樹形はきれいな扇形で、乳房状の気根がいくつもみられます。高さが 18 m、幹周りが 5 m で区内最大の大きさです。三代將軍徳川家光のお手植えと伝えられています。

内田家の屋敷林

区指定

早宮三丁目の高台にあります。ケヤキ、シラカシ、ムクノキなど高さ 2 m 以上の樹木が 309 本あります。特にケヤキは高さ 30 m の門前の大木をはじめ、幹周りが 2 m 以上のものが屋敷を囲むように植えられています。屋敷林は、防風・日除けとして、また、雑木林は、農業用堆肥として活用されました。



井口家の屋敷林

区登録

立野町の千川上水脇にあります。ケヤキを中心にヒイラギモクセイの生垣と、イヌシデやシラカシがみられる屋敷林です。特にケヤキは 10 本が推定樹齢 200 年以上とされる大木で、生垣は



20 m を超える高さがあり、武蔵野の屋敷林の風景を今も残しています。

冬

土支田八幡宮の社叢

区登録

土支田 4-28 の土支田八幡宮の周囲に植栽されたスギやヒノキを中心に、イチヨウ、アオキ、ヒサカキからなる社叢です。



1月26日は、「文化財防火デー」です。毎年この日を中心に文化財を火災などの災害から守るため、全国各地で防火訓練が実施されます。

昭和24年(一九四九)1月26日、現存する世界最古の木造建築物である法隆寺金堂が炎上し、白鳳時代(7世紀半ば)8世紀初め(の壁画が焼損しました。

この壁画の焼損は、国民に強い衝撃を与え、火災や災害による文化財保護の危機を深く憂慮する世論が高まり、翌昭和25年(一九五〇)に文化財保護の総合的な法律として文化財保護法が制定されました。

その後、法隆寺金堂の修理事業が完了した年の翌昭和30年(一九五五)、法隆寺金堂が焼損した日であること、また、1・2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることを踏まえ、1月26日を「文化財防火デー」と定めました。

練馬区でも、区内の消防署や地域の防災組織による消防演習が、神社・寺院等で行われます。

次の演習は、どなたでも見学できますので、ぜひお越しください。



昨年の様子

文化財を火災から守ろう 1月26日は文化財防火デー

日時・場所

石神井消防署による演習

1月26日(月)

午前10時30分から11時まで

教学院(大泉町6-24・25)

【問合せ】伝統文化係まで

生涯学習センター分館

「ねりまの遺跡」

展示コーナー開設

練馬区の遺跡から出土した遺物を展示しています。旧石器時代の石器、縄文時代の土器や石器、弥生、平安時代の土器、中世の陶磁器等をご覧ください。

場所 高野台2-25-1

最寄駅 練馬高野台駅

(徒歩15分)

開館時間 午前9時～午後9時半

休館日 12月29日～1月3日

展示の問合せ 伝統文化係まで

